

せき 関っ子 がくしゅうの8つのやくそく



①せいせいとん

ひき出しの中なか…右は教科書みぎやノートきょうかしょ。左はのりやクーピーなどいつもおいておくものひだり

ロッカーやひき出しだの中なかは、いつも使いやすいようにきれいにしておこう。

②がくしゅうのもちもの

じゅぎょうにひつようなもの（がくしゅうのもちもの・しゅくだい）を
わすれないように用意よういしよう。わすれてきた時ときは、きちんと先生せんせいに言いおう。

③チャイムせき

チャイムのあいずでがくしゅうがはじまるようにじゅんびをして、
せきにつき、しずかにまとう。

④あいさつ

じゅぎょうのかじまりとおわりのあいさつをしっかりしよう。

⑤姿勢

正しいただしせいただでがくしゅうしよう。

「しせいを正ただしましょう。」
「はい。」
「今いまから〇時間じかん目の口くちのペンめんきょうをはじめます。」
「はい。」

⑥はなす

名前なまえをよばれたら、「はい」とへんじをして、「～です。」「～ます。」まではっきりとはなそう。

はなす時ときは、声こえの大きおおさに気きをつけ、みんなにきこえる声こえではなそう。

⑦きく

きくときは、はなす人からに体からだをむけ、さいごまでしずかにはなしをきこう。

うなずくなど、はんのうしながらきこう。

⑧かく

えんぴつを正ただしくもって、ていねいな字じでかこう。

下したじき・じょうぎを正ただしくつかおう。